

グローバル人材育成推進事業 審査結果表

大 学 名	早稲田大学
申 請 区 分	タイプA
〔評価コメント〕	
<p>本構想は、グローバルな視点を持って“Global、Regional、National、Local”のどの場においても課題解決に貢献する人材を育成しようとするプログラムである。大学の将来構想に沿って平成34年度には毎年8,000人の学生全員を留学させるとする壮大な計画を前提としており、本構想のもとで海外留学経験者を現在の1,800人から平成28年度に4,000人にまで激増させるとする意欲的な取り組みである。本構想においては、入試制度改革に始まり、多様な外国語教育と留学準備教育、英語での教養と専門の学習、長期短期海外留学と就職支援等様々な取り組み内容が計画されており、その戦略性は高く評価できる。</p> <p>各学部で提供している英語による授業もオープン化して全体としての国際教育プログラム開発の実効性を高めている点、また独自開発による講義のオンデマンド化を進め、学生が主体的にいつでも学ぶことで留学準備ができる環境も整備している点等、注目すべき多くの取り組み内容が含まれている。また世界の大学との学生交流のためのクォーター制導入計画も特色となっている。人事面で外国語による授業ができるという条件を一般化する点も評価できる。</p> <p>しかしながら、本構想は取り組み内容が極めて壮大であるだけに、例えば将来の全員留学については消極的な学生に対する動機付けの手法が明確にされていない等、実現に向けた課題も残されており、検討が望まれる。</p> <p>最後に、今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にす国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	